

# 人間発達講座

## 自分づくりを生きる わたし

### 第4回 学びあい 教えあい とともに生きる ～私たちの発達保障～

オンライン開催

▶▶▶ 2022年 1月30日(日) 9:20~16:45  
入室は9:00より

人は、なぜ、学ぶのでしょうか？

私たちにとって「学ぶ」とはどういうことなのか、なぜ私たちは生まれてから死ぬまで学び続けるのか。今回の講座では、「学びと人間発達」について考えます。

乳幼児期、学齢期、成人期、様々な年代、様々な場所で学びあい、そして教えあうことがあります。今、私たちの現状はどうでしょうか？ みんな平等に大切にされているでしょうか？ ますます壊されてきてはいないでしょうか？

コロナ禍で大切なことができなくなってしまった今だから、より鮮明に見えてきたことがあります。学びあい、教えあいながら、私たちはどんな実践をしていくのか。そして課題を解決するために、社会にどんなアクションを起こしたらいいのか。みなさんと一緒に考えたいと思います。

#### 開催形態

オンライン (ZOOMウェビナー)

録画視聴は2月5日(土)~13日(日)

#### 受講料

- 一般 8,250円 (7,500円+税)
- 会員 6,050円 (5,500円+税)
- 25歳以下会員※ 2,750円 (2,500円+税) ※1995年4月2日以降生まれの会員

主催  
お問い合わせ

人間発達研究所

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階  
TEL/FAX 077-524-9387 E-mail j-ih63su@j-ihd.com

後援

滋賀県・滋賀県教育委員会・滋賀県社会福祉協議会

# 講師・講義内容

9:20 開会あいさつ

9:30▶10:30

基調報告

人間発達研究所  
運営委員会

## 発達保障の課題2022

今回の講座のねらいや、みなさんと考えあいたいことを提起します。運営委員による共同研究の報告の場です。

10:45▶11:50

第1講義

木下孝司さん  
(神戸大学)



## 幼児期の学びあい・教えあい ——文化伝達から集団の学びを考える——

人類は、文化を創造、継承して、累進的に文化を発展させてきました。その過程では、ヒトに固有の模倣と教示が重要な役割を果たしています。では、幼児は、いつどのように模倣や教示が可能になり、また、学びあいや教えあうことは、どのような発達の意味をもつのでしょうか。

この講座では、そうした問いに関わる発達研究の知見を学びます。そして、集団の中で知識・技能が伝わっていく文化伝達に注目して、「集団の育ち」について考えていきたいと思います。

13:00▶14:05

第2講義

服部敬子さん  
(京都府立大学)



## 学びの土台を豊かに

——生後第3の発達の原動力をはぐくむ集団活動に着目して——

5、6歳ごろの子どもたちは、体験したことや考えたことをすじみち立てて話そうとし、「なんで～～と思う？」と大人に教えたがり、ちょっと抽象的な「新しいことば」に興味をもちはじめます。

「可逆操作の高次化における階層-段階理論」によれば、こうした姿としてあらわれる「生後第3の新しい発達の原動力」によって子どもたちは学童期なかばへの飛躍的な移行をなしとげていきます。

今回は、学びにむかう発達の原動力をはぐくむ集団活動に焦点をあてて考えたいと思います。

14:20▶15:25

第3講義

宮本郷子さん

(龍谷大学)



## 子どもの発達と人権を保障する特別支援教育

—特別なニーズをもつ子どもたちも

楽しくいきいき過ごせる通常学級での実践—

どの子どもも排除されずに大切にされ、必要に応じた教育的支援が全ての子どもたちに保障されるのが学校教育の本来の姿です。しかし今日、子どもたちの多くが生きづらさを抱えながらも発信できず、発信するすべも知らずにいます。私たちはこのことをどうとらえ関わっていくべきでしょうか？

小学校の通常学級の実践、集団づくりをとおして、わかりやすく楽しい学びについて考えていきたいと思います。

15:40▶16:45

第4講義

杉田真衣さん

(東京都立大学)



## 若者・学生の姿を通して見える今の社会と未来をつくる私たち

高卒後、大卒後、就労に移行していく若者は、どんな困難や不安を抱えているのでしょうか？ 階層、ジェンダーやセクシュアリティの問題を手掛かりに、先の見えない社会の中で、若者が主体的に生きることに必要な“学び”とは何かを考えます。

青年からおとなへ、一方的に支援されるだけではない彼らと共に未来をつくる課題を考えあいたいと思います。

- 講座のテキストは事前に郵送します
- 参加者による録画・録音はできません
- 入会も募集中

# 申込方法

どちらかをお選びください

## ①インターネット

右のQRコードから、申し込みページにアクセスしてください  
研究所のホームページからもアクセスできます

※メールアドレスは正確に入力をお願いします

登録後すぐに確認メールが届かない時は、メールアドレスの入力間違いか  
迷惑メールフォルダに入った可能性があります

ご不明な場合は、人間発達研究所まで

※申し込み手数料は、各自はご負担ください



## ②専用申込用紙（払込取扱票）

・一人1枚ご使用ください。記載事項をみれなく記入の上、  
受講料を郵便局からご送金ください（手数料は、各自ご負担ください）

・申込用紙を利用しての会費の払い込みはできません

※メールアドレスは視聴に必要です。

●出張などで上記の方法での申込みが難しい場合はご連絡ください

●おねがい @eventpay.jp @zoom.us のドメインのメールが受信できるように  
事前に設定をしてください

▶申し込み締め切り **2022年1月17日（月）まで**

▶キャンセルについて 郵送・FAX・メールで人間発達研究所までご連絡ください  
キャンセル受付の返信を必ずご確認ください  
※2022年1月17日（月）まで、全額をお返しします

## ZOOMのご案内

### 必要なものは

①スマートフォン/タブレット/パソコン

※スマートフォンで視聴される場合は、データ通信量に注意が必要です  
Wi-Fiに接続しているか確認します

②  Wi-Fiに接続

### 当日の参加はクリックするだけ！

1. PC、Mac、iPad、または Android から参加する

[ウェビナーに参加](#)

上記のボタンが機能しない場合は、このリンクをブラウザに貼り付けてください。

http

このウェビナーの安全性を維持する必要があるため、このリンクは公に共有しないでください。

[カレンダー \(.ics\)へ追加](#) | [Google カレンダーへ追加](#) | [Yahoo! カレンダーへ追加](#)

ありがとうございます！

**当日は  
申し込み完了後に  
送られてくるメールの  
ここをクリック**

**ZOOMの接続テストを  
1月22日（土）に  
行います  
希望の方は申し込み時  
にお知らせください**